

令和3年7月17日・18日

顧問・監督・外部指導者(コーチ)様

大阪中学校夏季柔道大会本部

## 計量・柔道着検査・試合等について

[大会期間中、携行すること]

- \*参加者は、マスク着用・3密回避・大声を出さない・手洗い・手指消毒を行うなど、コロナ対策を励行し、予防に努めること。
- \*コロナ対策として、体育館内に入ることを厳しく制限する(無観客試合)ので、各校で保護者等に事前周知しておくこと。IDカード・IDシールのない者は、アリーナ・ギャラリーに入ることを認めない。IDカード・シールは決して、他人に譲渡しないこと。
- \*顧問・監督・コーチは、審判員に準じた服装で、地区別受付(入口北側の軒下)にてIDシールをつけて大会にご参加すること。
- \*受付時には、「健康状態確認票」を忘れないように提出すること。
- \*2日間を通してアリーナ入場の際、全ての参加者は履き物を靴袋に入れ、持ち歩くか指定場所におくこと。入口(付近)での放置は厳禁する。

[1日目；個人戦計量] (地区ごと受付8:30～「引率者としての外部指導者」は、原則的に受付場所までの引率とする。 / [変更] → 団体戦にも出場している学校は、併せて受付を行なう。選手変更がある場合は、「選手変更用紙」をもらうこと。)

### 1. 計量会場：男子-剣道場 女子-柔道場

◇ 体育館内移動時、裸足は厳禁する。必ず靴袋を持たせること。

- (1) 選手は靴を袋に入れ、自分で持って計量会場に入ること。(学校で一括等・可)
- (2) 顧問・監督・外部指導者(コーチ)が同会場に入るとは、選手が「選手→顧問連絡用紙」(失格の対象)を持って一旦退室し再入室する場合のみ、1名だけ認める。
- (3) 柔道着検査は実施しない。体操服での計量可。最初から別室計量を希望する場合は、自分の階級担当者に申し出てから別室に行くこと。

### 2. 時 程：※生徒は順序よく、走ったりせず入場するよう、各校で指導しておく。

[更衣場所：男子-ギャラリー・剣道場 / 女子-ギャラリー・更衣室・柔道場]

8:30～当該地区ブースで受付。個人戦用IDカード・シールは配布しない。(明日

[変更→団体受付可] 配布) 団体戦用IDカード・シールは配布する。

予備計量開始。[この時点で合格した者は、正式計量を行わなくてよい。]

予備計量の時点で、体重が不合格であることがわかった選手は、直ちに「選手→顧問連絡用紙」を持ち退室して体重調整することができる。

※ただし、9:15までに合格しない場合は、「失格」となる。

8:40 整列開始 ([自分の階級担当者に申し出れば、最初から別室予備計量もできる])

8:45～9:15 正式計量

- (1) 正式計量は複数回計量とする。(体重計の上限・下限の～.0までを合格とする、)  
[例 男子60kg級: 55.0kg～60.0kgが合格]
- ① 選手は、自分の計量が終了すれば退室することができる。個人戦のみに出場の選手は、本日はこれで終了。速やかに退館すること。
- ② 通常の正式計量は、男子-上半身はだか・下ばき、女子-Tシャツ・下ばきで行なう。このあと、団体戦計量のある選手は、一旦退室して団体戦計量の際に再入室すること。
- ③ 男子のトランクス、女子のTシャツ・ハーフパンツ姿までは、通常の計量場所で計

量

する。体重が不合格の選手は、「失格の対象」となる。ただし、別室にて再計量することができる。それでも、合格しない場合は、~~※~~と同様。

- ④ 正式計量のあと、別室計量を受けることもできる。
- ⑤ 別室計量の選手には、計量結果をすぐに自分の階級担当者に伝えさせること。
- ⑥ 最終計量の結果、「失格」の選手には用紙を持たせて退室させる。
- ⑦ トイレのため、退場することは許可する。
- ⑧ **柔道着検査は行わない。**別紙「公式試合の柔道着について」を参照のこと。サポーター・スパッツ・マウスピース等は、装着した初戦の前に審判員に自己申告させて許可を得ること。（団体戦も同様）試合時に違反が発覚した場合、「反則負け」になる可能性がある。

**[ 1 日 目 ; 女 子 ・ 男 子 団 体 戦 計 量 ]**（地区ごと受付 9 : 0 0 ~ 個人戦と併せて受付を済ませた学校は、これを免除する。）

[必要があれば、顧問は「選手変更用紙」をもらい、計量担当者に提出すること。]

1. 計量会場 : 男子-剣道場 女子-柔道場

(1) 選手は靴を袋に入れ、自分で持って会場に入ること。(学校で一括等・可)

(2) 顧問・外部指導者(コーチ)の1名だけ、選手と一緒に同会場に入ること認める。

2. 時 程 : [更衣場所: 個人戦と同じ]

8 : 3 0 ~ 団体戦も出場の学校は、地区ブースで受付。IDカード・IDシールを配布。

9 : 0 0 予備計量開始。(個人戦計量用の空き体重計使用可)

9 : 1 0 整列開始

9 : 1 5 ~ 9 : 4 5 正式計量

(1) 正式計量は、1回のみとする。

① 出場選手は、同じ格好で全員がそろっていること。

② 計量後「計量結果用紙」を受け取り、顧問は初戦オーダー表を10 : 00までに本部に提出すること。

③ **柔道着検査は行わない。**以下、上記⑧と同様。

**[ 1 日 目 ; 女 子 ・ 男 子 団 体 戦 ]**

1. アップ会場 : 女子 ; 試合会場 (設営中の場合は柔道場) / 男子 ; 柔剣道場

2. 時 程 : ※試合進行状況により変更あり

(1) 女子団体戦

10 : 00 オーダー表提出〆切 (男子団体戦も同様)  
アップ

10 : 45 ~ 開会式の整列開始

11 : 00 ~ 開会式 終了後すぐに1回戦開始

12 : 00 ~ 表彰式 [別室で近畿・全国大会出場説明会]

(2) 男子団体戦 [昼食場所 ; 館外・ギャラリー / 女子団体も同様]

12 : 15 ~ 開始式の整列開始

12 : 30 ~ 開始式 終了後すぐに1回戦開始

15 : 00 ~ 表彰式 [別室で近畿・全国大会出場説明会]

3. 選手変更 :

(1) 受付時に、選手変更用紙(3部続き)をもらい、必要事項を記入の上、3部とも各会場の計量係に提出する。なお、選手の追加はできない。

- (2) オーダー表提出・オーダー変更について (全て顧問の責任となる。)
- ① オーダー表は、当日の正選手・補欠に分け、正選手は正式計量の体重の軽い順に、先鋒→大将で記入する。
  - ② 提出したオーダー表は、1回戦のオーダー表となる。提出後～1回戦終了まではオーダー変更はできない。
  - ③ 2回戦以降が初戦となる場合は、1回戦等の様子を見て、オーダー変更をすることができる。
  - ④ オーダーを変更する場合は、試合が始まる前に顧問が記録係に申し出ること。チーム招集のため審判が試合場に入った時点で、試合の開始とします。審判入場後のオーダー変更は認めない。つまり、直前の試合のオーダーが、そのまま踏襲される。
  - ⑤ 出場可能な正選手・補欠がいるにもかかわらず、作為的に故意に先鋒や次鋒に「空き」をつくることはできない。
  - ⑥ オーダー変更をする場合、以下の選手を出場させることはできない。
    - i) 一度退いた選手
    - ii) ~~絞め技で〈落ちた〉選手~~ [カデ大会規定] 今大会、絞め技は、禁止技とする。
    - iii) ダイレクトの「反則負け」になった選手 (両袖技・通常のヘッドディフェンスは除く)
    - iv) 「両者同時累積反則負け」になった選手 (「失格」になるため)
    - v) ケガ・疾病で棄権した選手 [本大会申し合わせ]
    - vi) その他、出場資格のない選手 (後記⑧参照 他)
  - ⑦ 審判員は、試合前にオーダー確認をする。そこで、オーダーミスが発覚した場合：
 

〈相手チームに、不利益が生じないことを趣旨として以下の対応とする。〉

    - i) 単純な整列間違いは、オーダーミスとはしない。
    - ii) 上記⑥に関わるオーダーミスがあった時は、そのチームを「失格」とする。(試合中に発覚しても、「失格」とする。)
    - iii) ii) に抵触することなく、オーダー変更がないのに出場可能な補欠選手並んでしまっている時は、オーダー表通りに (直前の試合のオーダーに戻し) 試合を開始し、罰則は与えない。
  - ⑧ 試合中にオーダーミスが発生した場合 (例：次鋒戦に、誤って中堅の選手が出場した等) は、ミスをした当該選手は「失格」、そのことに関連し試合順が変わった同チーム内の選手を「棄権」とする。(⑦⑧とも、終了した試合については成立とする。)
  - ⑨ ⑦⑧の際の「試合の礼法」、並びにこれ以外の事態が発生した際の取り扱いは、大会本部で決定する。
  - ⑩ 各校の顧問は、記録係に申し出て、他校チームの正式計量の結果を閲覧することができる。(アリーナ内にも掲示。)

## [2日目；男女個人戦]

1. 時 程 : [更衣場所：男子ーギャラリー / 女子ー ギャラリー・更衣室]
- 8 : 30 ~ ※男女全階級 当該地区ブースで受付。IDカード・IDシールを配布する。  
 [「引率者としての外部指導者」は、原則的に受付場所までの入場とする。]  
 アップ；前半選手・試合会場 後半選手・柔剣道場
- 9 : 45 ~前半戦開始式の整列開始 [男子 50~66kg 級・女子 57~70kg 超級]
- [変更→開始時間] 後半戦選手は、アリーナ外に退場かギャラリーへ移動する。
- 10 : 00 ~開始式 終了後すぐに1回戦開始
- 11 : 45 表彰式  
 昼食休憩；ギャラリー・館外で食べること。

12:15～後半戦開始式の整列開始〔男子73～90kg 超級・女子40～52kg 超級〕

前半戦選手は退館か、ギャラリーへ移動する。

12:30～開始式 終了後すぐに1回戦開始

15:00 閉会式 〔別室で近畿・全国大会出場説明会〕

## 〔個人戦・団体戦を通して〕

- (1) ダイレクトの『反則負け』（両袖技・通常のヘッドディフェンスを除く）になった選手は、その日の以降の試合に出場することができない。
- (2) 個人戦計量時は、顧問（または監督・コーチ）が館内に居ること。計量不合格候補になった場合、「失格」になります。団体戦計量時不在の場合は、「失格」とします。
- (3) 柔道着検査は、各校・各自の責任で行うこと。試合前に審判員が修正・交換を指摘しても、修正・交換できた場合は試合することを認める。しかし、それができなかった場合や違反のサポーター等が発覚した場合は「反則負け」を適用する。
- (4) 顧問・監督は、試合前に審判員に対し、相手選手の柔道着に疑義を申し述べることができる。しかし、一旦試合が始まれば、疑義の申し出はできない。
- (5) 顧問・監督・コーチ・補欠選手も、ベンチに入る場合は、選手に合わせて試合前・試合後の礼を行うこと。
- (6) 顧問/（監督）・コーチの、試合中の選手へのコーチング[サイドコーチ]について
  - ① 決められた席で行なうこと。
  - ② 主審の「待て」から、次の「始め」までの間に行なうこと。
  - ③ 補欠選手・応援の選手については、拍手のみで声援は禁止する。〔コロナ対策〕
- (7) 「(a)外部指導者(コーチ)」と「(b)引率者としての外部指導者の特例」について〔以下は(a)(b)で表現〕
  - ① (b)は、個人戦〔同 計量〕の地区受付までの入場とする。
  - ② (a)には、審判に対する抗議権・質問権はない。質問のみ監督・顧問を通して行なうことができる。(抗議権は、監督・顧問にもない。)
  - ③ (a)は、大会開催中に選手の棄権・交代を係に告げることにはできない。監督・顧問を通してのみ行なうことができる。
  - ④ (b)は顧問不在の場合、受付時に選手参加の旨を告げること。係から、正式な引率者かどうかの確認がある場合がある。
- (8) 「大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した選手は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を受けること。

### ◆ルールの解釈について：

低い背負い投げ等で投げられた際、受け身を取れず相手越しに顔面から畳に落ちた場合の扱いは、《ヘッドディフェンス》を適用し「反則負け」とする。ただしこのケースは、従来からの「審判申し合わせ」に沿って「試合にでるには未熟である」と判断し、〈選手の安全管理の観点〉からその日の以降の試合には出場させない。

## ※ 今大会コロナ対応のための変更・追加事項

- (1) 入場制限〔IDカード・IDシールがなければ、アリーナ・ギャラリーに入場できない。〕
- (2) “柔道着検査”を実施しない。
- (3) ジュリーと主審による「二審制」の導入 〔全試合にビデオケアシステム導入〕
- (4) 絞め技を禁止技とする。「待て」をかけ、罰則は与えない。

- (5) 頭を打ち、「すぐに立てない・立つ時にふらつく」等の症状が出た場合は、「棄権」とする。
- (6) 団体戦のチーム勝敗が決したあとの、対戦を行わない。〔野球のX勝ちと同様〕
- (7) GSに入った場合、3分経過ごとに1分間の休憩をとる。ベンチに下がり、水分補給をしてもかまわない。
- (8) 補欠選手・待機選手・RES選手（打ち込み相手）は、声援禁止・拍手のみで応援する。
- (9) その他、試合時以外は常時マスクを着用すること他、“3密の回避”など参加者全員がコロナ予防に自主的に協力すること。
- (10) 開会式（女子団体戦前）・開始式（男子団体戦前）は、各チーム代表選手1名のみ式典に参加することとする。事前に、各校で男女代表先生1名ずつを決めておくこと。

下記は、大会実施要項に記載していない。この紙面にて初めて連絡するので、特に万一17日（土）に「気象警報」が発令された場合に備えて、必ず事前に一読の上、柔道部員並びに保護者に周知すること。

### **※〔重要〕「気象警報」が発令された場合の措置について**

\* 以下（1）～（3）の場合、当日の大会を中止する。

- (1) 午前7時に、大阪府全域に「暴風(雨)警報」「特別警報」が発令されている場合。
- (2) 午前7時に、南海線〔難波⇄みさき公園間〕が不通の場合。
- (3) 午前7時に、堺市立大浜体育館が閉鎖されている場合。

- (4) 17日（土）が中止の時：
  - ① 18日（日）に、個人戦計量・女子/男子団体戦〔分割開催〕を行なう。
  - ② 18日（日）開催予定の男女個人戦〔分割開催〕は、22日（木・祝）大阪市立修道館にて開催する。（なお、22日に再計量は行わず、18日の計量結果を採用する。）
- (5) 18日（日）が中止の時：  
上記（4）②と同じ。
- (6) 夏季府大会が一日でも中止となり、第2日目；男女個人戦が22日（木・祝）修道館開催になった場合は、「中学生特別昇段審査会・形講習会」は、全て後日に延期する。（日程は未定）
- (7) 上記を含めて、夏季府大会の開催・変更・中止等のお知らせは、第1日については16日（金）第2日については17日（土）に、それぞれ「大阪中体連柔道部 HP」にアップする。
- (8) 大阪府下の一部に「気象警報」が発令されている場合：  
夏季府大会は、予定通り開催する。当該地区の学校については、所轄教育委員会の指示を踏まえて、参加・不参加を決定すること。

\* なお、新 大浜体育館には、食堂・売店はありません。